

非常変災発生時における緊急対応について

19日、台風4号の影響による暴風警報の発令に伴い、集団下校等の緊急対応をとりました。その際、様々な不手際等もあり、ご心配、ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

以下、具体的な事柄と今後の対応策も含めてお知らせします。

1. 緊急連絡票に「学校待機」としているにもかかわらず、「家の鍵を持っている児童」を職員の誘導のもととは言え、帰宅させた件についてお叱りをいただきました。食事をとれていないことやご自宅の方が子どもたちが安心できるのではないかといったことから私の判断で行ったものですが、このことについては誤った判断であったとお詫び申し上げます。子どもたちの所在が曖昧になることを絶対に避けなければならない状況であったにもかかわらず、保護者のみなさまや子どもたちに混乱を招いてしまいました。今後はこのようなことのないようにいたします。
2. 体育館に集めた「待機の子どもたち」の引き渡しについて、誰に引き渡したかを確実に把握しようとの思いから迅速な対応できませんでした。引き渡しのあり方について再検討してまいります。
3. メール配信をおこなってから集団下校を開始するまで、かなりの時間を要しました。迅速に開始できるよう検討してまいります。

そのほかにも問題点がありました。「非常変災発生時における緊急対応」について、いろいろな角度から再検討し、あらためてお知らせしたいと考えています。

同時に保護者のみなさまにも何点かお願いがあります。よろしく願いいたします。

1. ご自分のお子様「学校待機か集団下校か忘れてしまった。」といったお問い合わせや「学校待機にしていたが下校させてほしい。」といったお電話がメール配信直後から50件ぐらいありました。職員はすでに各担当地区の教室に行っており、少人数の職員で対応させていただきましたが、これらの電話対応をはじめ、体育館へ子どもを呼びに行ったり、放送したりしたことも集団下校の開始が遅れた一因と考えています。

今後、新たな「緊急連絡票」を作成し、配布することにしておりますが、目に見えるところに貼っておいていただくことや、対応の変更はやむを得ない場合以外は行わないこと、電話でのお問い合わせは極力お控えいただくことなどのご協力をお願いいたします。学校といたしましても、そのような問い合わせをしなくてもよいような体制づくりに取り組んでまいります。

2. 集団下校等を決定した直後にメール配信を行いましたが、メール配信システム未登録の方には電話での連絡を行いました。電話回線が2回線しかないため、担任が電話の前に行列をつくるといった状況になりました。電話がつかないことも多く、子どもたちへの指示等がなかなかできない状況でもありました。働いておられる方にとりましては、なかなか携帯電話を見る機会がないといったことは承知しておりますが、登録について再度、ご検討いただきますようお願いいたします。

29日には引き渡し訓練も予定しています。安全で迅速な対応を目指して取り組んでまいります。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。